



※喘ぎ声・吐息・フェラ音は文字化されていません。

### プロローグ

私はニートの息子を持つ母親、名前は智美と言います。専業主婦です。  
夫は高級官僚で経済的には何不自由なく、傍から見れば、幸せな家庭に映っていると思いますが、夫は子育てを私に任せきりで仕事一筋。  
とうの昔に家庭内は崩壊しているのです。  
息子は夫のコネで何とか卒業は出来たものの、定職に就かずにニートとなってしまう。どうして、こんな事になってしまったのか？  
思い当たるのは三年前、息子の部屋を掃除していた時の事です。  
ゴミ箱の中に大量の自慰の痕跡を見つけたのでした。  
はあ〜、またオナニーしてる。ティッシュの塊がこんなに。  
あー臭い、臭いわ。  
男の精子の匂いがプンプンする。あーこれなんか、まだ濡れてるじゃないの。  
出かける前にしたみたいね。1、2、3・・・もう、五つもあるわ。  
一晩に5回もオナニーするなんて異常だわ。  
私も、若い男の子が自慰をする事くらい理解しています。有り余る性欲を自分の手で解消するのは自然な事。母親としても、変な女を連れ込んでセックスをする位なら、オナニーをしてくれてた方が安心です。

でも、回数が尋常じゃないでしょ？

私はその晩、夫にそれとなく相談しました。

ねえ、貴方。あの子オナニーしてるみたいなの。

今日ね、お部屋を掃除してたら、精子の匂いのするティッシュが出てきてね。

私はティッシュが五つもあった事は伏せていたのですが、それがいけなかったのかも知れません。

夫は「男なんだからマスくらいカクさ」と意に介せず、続けて「明日早いから」と決まり文句を発すると寝室へと行ってしまいました。

完全な子育て放棄です。誰も頼りにならないと落胆するものの、やはり心配です。毎日息子の部屋をチェックするようになりました。

ニートといってもお小遣いを潤沢に渡している事もあるって、引き籠りではなく自堕落に遊び回っていますので頻繁に外出します。

その隙に部屋を物色するのですが、いつもゴミ箱にはティッシュの山！

家にいる時は、それこそオナニーばかりしているのです。

私がこんなに悩んでいるのに、息子はチンポを弄りながらマスばかりカイている。

ひと昔前だったら、息子の部屋でエロ本を見つけて注意する、なんてシチュエーションもあったと思うのですが、今は何でもスマホの中に入っていますからお説教の仕様がありません。

かと言って、証拠のティッシュを見せても、たかがオナニーです。夫の言うように若い男の子に自慰行為を禁止する方が酷というものです。

私だって、オナニーをするなって言っているんじゃないありません。回数が多すぎると心配してるんです。仕事もせずに、手遊びにうつつを抜かしている場合では無いと思うんです。そんな息子が本当の落後者になってしまうのではと悶々としていたある日の事でした。

### 息子に宿る悪魔

あれ？おかしいわね？さっき脱いだばかりのパンティが無いわ？

お風呂に入り、その残り湯で洗濯をしようとしたら、私のパンティだけが見当たらないのです。ピンと来た私は、息子の部屋へと向かうとノックもせずにドアを開けました。

お母さんよ。入るわね。

あっ、やっぱり！

貴方！お母さんの下着で何してるの！

思った通り、息子は私のパンティを鼻に押し当てて、オナニーをしていました。

下半身だけ裸になって、いきり立ったチンポをシゴいていたのです。

久しぶりに見た息子の股間は、黒々と勃起し、皮がしっかりと剥けた大人のチンポでした。想像はしていましたが、こんなにも生々しいチンポは、グロテスクでさえあります。

ついに現場を押さえた。それも、母親の下着の匂いを嗅ぎながら自慰をするという許されない行為の現場です。

何やってんのよ、貴方は！

そんな事して恥ずかしくないの！返しなさい、返しなさいったら！

突然の剣幕に何が起こったのか、理解できない様子の息子は、チンポを握り締めたまま固まっています。

もう、こんな事してたらダメじゃない。

貴方がオナニーばかりしてるの、お母さん知ってるのよ、毎日毎日、スマホでエロ動画でも見ながらコイてるのかと思ったら、よりによって、お母さんの下着なんか使って。

バカじゃないの貴方！

パンティを奪い取って、まくし立てる私に、息子は反省していると思いきや。ニヤニヤとイヤらしい笑みを浮かべて私の全身を舐めるように見ながらチンポを握り締めた右手を上下に動かし始めました。

私は急いでいた為、風呂上がりの裸にバスタオルを巻いたままの姿です。

あろう事か、息子は、その母親のあられもない姿に欲情してしまったのです。

嬉しそうにフンフンと荒い鼻息でチンポをシゴく息子。

何なの？！この子ったら。お母さんの裸に興奮してるの？

お母さんの体で性処理をしようとしているの？

目の前に居るのは、もう息子では無く、猿の様にセンズリをする、ただの獣です。息子が変わってしまった。もうあの頃の息子じゃ無くなってしまった。

性欲の塊となって手淫、まさに手による淫らな所業を繰り広げる息子。

手淫地獄に陥った息子に　私は落胆や悲しみよりも強烈な怒りが込み上げて来ました。私がこんなに心配しているのに、息子は、目の前の裸に欲情して、チンポを擦りまくる。

私は、息子の右手を払いのけると、自身の右手で、息子のイチモツを握りました。

あー嫌だ、こんなにチンポを勃起させて。お母さんの事、女として見てるのね。お母さんをズリネタにしてるのね。

あー気持悪い、女ならだれでも言いの？マンコが付いてたら誰でもいいのね。

あー気持悪い、どうしたの？お母さんの手の中で、チンポの堅さが増してるわよ。あー嫌だ、ビンビンに反り返って来た。チンポが反り返ってるわよ。興奮

してんの？母さんにチンポを握って貰って興奮してんのね。嫌だわ。あー芯が入って来てる。チンポにしっかりと芯が入ってカチンコチンになってるわ。

あーチンポが、チンポがフル勃起してる。

こうして、擦ってるんでしょ？こうして、上下にチンポの皮を使ってシゴいてるのよね？あー気持ち悪い、あーイヤらしい、イヤらしいチンポだわねえ。

あー亀頭がパンパンになってるよ。あーパンパンに膨らんでる。

気持ちいいの？そんなにチンポが気持ちいいのね。チンポ、感じてる？

そんなに気持ちいいの？

あー何々？今度はヌルヌルした液が出てきたわよ。あー亀頭の先からお汁が出てきたわ。あー我慢汁漏らしてる、あー漏らしてるわ。あー汚らわしい、お母さんの手にスケベ汁が付いちゃってるじゃないの。

フンフン、フンフン、スー、スーッ。

あー臭い、臭いわ。何漏らしてんのよ。あー臭い！

お母さんに欲情してんじゃないわよ。イヤらしい男ね。

そんなにお母さんをオカズにしたいんなら、マンコ、見せてあげようか？

マンコだよ、マンコ！貴方が出てきた穴よ。自分が出てきたマンコ穴が見たいんでしょ？

そんなの見て興奮するの？変態、この変態！

ほら、股広げたよ。見える？お母さんのマンコ見えてる？ほら、ビラビラも広げて穴の中も見せてあげる。ん？濡れてる？

バーカ、これはマン汁じゃなくて、湯上りで濡れてるだけよ。貴男と同じにしないで。どこまでイヤらしい子なのかしら。あー嫌だ嫌だ。

ほらほら、チンポシゴいてるわよ。シコシコ、シコシコしてる、シコシコ、シコシコ。シコシコシコ。

ほーら、これが好きなんだろう、これが好きでヤメられないんでしょ？

ほらほら、こうしてやる、こうしてやる！

チンポが立っちゃうからオナニーしたくなるのよね。無駄に勃起しちゃうから、手で弄ってしまうんでしょ？こんないけないチンポはお母さんがシゴき倒して、フニャフニャにしてやるわ。

ほらほら、ほらほらほら、出せ出せ、気持ち悪いドロドロの汁を出してご覧。

ほらほら、出すのよ。チンポに悪さしてるチンポ汁を出してご覧。

イクんでしょ？こうして、シコシコされると我慢出来ずに漏らしちゃうんだよね。あーイヤらしいチンポだ。

ほら、出しなさい！お母さんの言う事聞けないの？！

出して、出して、ザーメン出すの！シゴいてやるよ、もっとシゴいてやる！

ほらほら、ほらほら、ほらほらほらほら！イケイケ！チンポ、いっぱいイケ！

イケイケ、チンポチンポチンポ、イッちゃえ～！

あー出た、出た、白いのが出てきた。あー嫌だ！

白い液がドクドク噴き出してきたわよ。あー気持悪い、あーイサオ、イサオ、貴方のチンポから臭っさい液が出てきたわよ。

息子は、言葉にならない声で絶叫すると、ガクガクと震えながら大量の精液を放出しています。ドクドクとチンポから出てくる白い液体は、練乳の様に濃くて、糸を引いています。こんなにも大量にチンポから精液を出してしまうなんて。一晩に何度もオナニーをする筈です。

息子は今まで味わった事の無い強力な快感に襲われたのでしょう。

肩を大きく揺らしながら、荒い息遣いをさせ、時折ビクンビクンと痙攣しています。そして暫く、ぐったりとしてしまいましたが、ゆっくりと起き上がると、これ以上ない笑顔で「お母さんありがとう」と言ったのです。

どうしたの？えっ、なにになに？

お母さんはお仕置きのつもりでやったのよ。ありがとうじゃないでしょ？

私は気が動転してしまいました。怒りのあまり、息子のチンポにキツイお仕置きをしたつもりが、意に反して息子はとても喜び、感謝の言葉を述べたのです。

その言葉に、息子に乗り移った邪悪な悪魔が立ち去った様に感じました。

そして、思わず息子を抱きしめてしまっていたのです。

いいの、悪いのは貴方のチンポに溜った、お汁のせいよ。

あのお汁がいけないの。あのお汁が貴方をダメにしていたのよね。

もう大丈夫、出しちゃったから大丈夫よ。

ふうーっ、判ったわ、これからはお母さんの下着を貸してあげる。

お汁が溜って苦しくなったら、それを使ってオナニーしなさい。

だけど1回だけ。一日にオナニーは一度だけよ、いいわね？

あっ、それから、この事はお父さんには内緒するのよ。判ったわね。

## ご褒美フェラ

それ以来、息子は人が変わったように前向きになって、私の一番の願いである社会参加に取り組むようになったのです。

遊びをヤメてアルバイトに通うようにもなりました。でも、若い下半身は相変わらず元気で、一日一回に限定したオナニーはヤメられていないようです。

毎日、何度も私の下着を欲しがります。そこで私は、一日一回のオナニーを守らせる代わりに、たとえ短時間でもアルバイトに行ってくれたら、別のご褒美をあげる約束を交わしたのです。

お帰りなさい。どうだった？仕事にも慣れた？

そう、それは良かったじゃない。もうすぐご飯出来るからね。

お父さん？今、お風呂入ってる。うん、今入ったばかりよ。

あん、ダメ！抱き付いたらダメだったら。包丁持ってるから危ないって！

もう、ご褒美は後、後！こんな所で出来ないでしょ？

あん、昨日はお父さんが居なかったからキッチンでもしちゃったけど、今日は無理よ、無理無理！あん、ヤメて。オッパイ揉んだりしないの。

あーもうヤメてったら。

触ってみてって？えっ？そんなとこ触らせるの？

ん？ あら嫌だ、もうビンビンじゃないの？チンポが凄く固くなってるわ。

オナニーは？

もう今日はしちゃったの？それじゃ、自分では出来ないわね。

我慢出来ないって言われても困るわ。

溜ってるの？悪いお汁が溜ってるのね。ふう、仕方ないわね！

それなら今のうちに、スグ出しちゃおうか。チンポ出しなさい。お母さんが吸ってあげるから。今は、時間が無いから、早く出せるように口でお汁を吸い出してあげるわ。口のサービスは特別だからね。

あっ、鍋が吹きこぼれないか、良く見ててよ。

お母さん、しゃがんでチンポをしゃぶるから。

そうです。これがご褒美です。息子のチンポに溜った精液を抜いてあげるのが私からのご褒美。息子はこのご褒美欲しさに、オナニーを我慢してくれます。初めて手で出してあげた後、暫くは私のパンティを持ち出しては、自分の手でオナニーをしていましたが、私の手コキの快感が強烈だったので、もう自分の手では満足出来ない様になっていたのです。

オナニー癖が気になっていた私としては、それで回数が減ってくれば言う事はありません。求められれば、部屋だけでなく、リビングやキッチン、トイレの中でもチンポを握って擦ってあげました。私のハンドサービスを気に入った息子は、エスカレートして、私の体そのものを欲しがるようになり、ホディタッチなども大胆にするようになって来ました。

勿論オマンコへの執着も強く、挿入もしたがりです。

そうです、盛んに私と繋がろうとして来るのです。

しかし、こればかりは応じる訳にはいきません。お口でするのが精いっぱい。

でも、お口のサービスも彼のお気に入り、私の「バイト一回につき手コキ一回は、自然とフェラ一回」のご褒美になっていきました

チンポを刺激する行為で、手と口くらいなら大丈夫、本番セックスとは違うんだと自分に言い聞かせ、何とか罪悪感から逃れていたのかもしれない。

どう？気持ちいい？チンポ、気持ち良くなってる？それなら出して。

ちょっと早いけど出して頂戴。もう少し楽しませてって？仕方ないじゃない、

お父さん、そろそろお風呂から出て来ちゃうわよ。  
ほら、ほら、飲んであげるから。悪いお汁を飲んであげるから、このままお母さんの口の中に発射して！うん？吸うの？強く吸って欲しいのよね？  
判ったわ、チンポをチューって力強く吸ってあげるから、いっぱい出すのよ。  
ドロッとしたいつものヤツ、残らず出して頂戴。  
ほら、ほら、チュー、あー出てきた、出てきたわ。毒素が出てきた。いけない液が出てきたわ。はい、飲んだわよ。満足したでしょ。  
さあ、もう着替えてらっしゃい。お父さん、出ちゃうわよ。

### 夫婦の寝室

貴方、ヤメて！嫌だ、疲れてるの。私疲れてるから、今日はヤメて。  
あん、オッパイ揉んでもダメよ。あん、そんなとこ触っちゃダメ。オマンコ擦ったりしないで。  
ああん。もう、どうしたのよ？ やりたいって？  
御免なさい、私、本当に疲れてるの。また今度、相手してあげるから、今日は勘弁して。ホントに疲れてるのよ。  
あん、チンポを擦り付けないでよ。お尻にチンポを擦り付けちゃ嫌。  
ふふ、判るわよ。固いのが当たってるもの。  
ビンビンに勃起してるじゃない。まったく、どうしちゃったの？  
ここの所ご無沙汰だったのに、最近は毎日セックスしたがるじゃないの。  
そうなんです。息子が更生して、悩みが解決したせいでしょうか？  
夫も早く帰宅するようになり、夜の方も再開するようになっていました。  
子育て放棄していた癖に現金なものです。  
夫から最近、綺麗になったとか若返ったとか、ふふふ、お世辞を言われてます。  
恐らく、息子とイヤらしい関係になった事で、私の女の部分が復活したみたいです。妙にセクシーさが増したのも自覚しています・  
最初は、イヤイヤ応じていた息子の性処理も最近は当たり前になってきたし、男の精液は女にとってのコラーゲンみたいな物かも知れません。  
でも夫のお誘いに、疲れたと言ったのも事実で気乗りがしないんです。  
やっぱり息子との事があるせいでしょうか？  
手放しにセックスを楽しむ事が出来ないんです。  
判ったわ、判ったから、ちょっと待って！気づかれたらヤバいから、静かにやってよ。そっとだったらセックスさせてあげる。うん、寝バックでお願い。  
私、背中向けて横になってるから、体を密着させて後ろから入って来て頂戴。  
そうそう、これだったら寝たままチンポ差し込んで腰を動かせるでしょ？  
えっ？舐めてくれないのかって？もうチンポは芯が入ってたでしょ？



勃起してんだから舐めなくてもいいじゃない。甘えないで！  
もう、ハメるの？ハメないの？どっち？  
あつ、ちょっと待って！唾くらい付けてよ。ハメる時痛いんだからさ。  
お前は濡れてないのかって？バカ、濡れてる訳無いでしょ？もう、私が唾付けるから、さっさとハメて終わらせて頂戴。  
えっ？気持ちいいかって？気持ちいいに決まってるじゃない。オマンコしてるんだから。疲れててもチンポで擦られたら気持ちいいわよ。  
だったら声出せって、それは無理！  
聞こえちゃうでしょ？あん、そんなに激しく腰振らないの！ベッドがきしんで音がしちゃう。もっとゆっくり出し入れして！そうそう、そんな感じ。  
中出ししてもいいかって？ダメよ、今日は中で出せない日！  
うん、ちょっと危険日かな？良くないわよ。この年で赤ちゃんが出来たなんて恥ずかしいでしょ？もう一人欲しいんだって？  
貴方、本気で言ってるの？バカねえ、うふつ。  
さあ、そろそろいいでしょ？イキたくなったらチンポを抜いて、お尻にでも振り掛けて頂戴。ティッシュで拭くから。ふん、どうせ、量もちよっとしか出ないんでしょ？  
あー出して、出して、イクイク、私もイクから、ほらほら、お尻、お尻に出してよ。あーイクイク、イクイクイクイク、ほら、オマンコいく、オマンコいく、イクイクイクイク、オマンコイクーっ。

## 悪魔再臨

えっ～っ？昨日、セックスしたろうって？  
ど、どうしたのよ、急に。貴方、見てたの！寝室を覗いたの？  
何よ、急にそんな事言い出したりして。  
お父さんとは夫婦よ、セッ、セックス位するわよ。おかしい？  
いつものように、リビングのソファでシコシコと息子のチンポをマッサージしている時でした。突拍子もなく発せられた息子の一言に、つい大声で反応してしまったのです。  
息子はニヤニヤしながら「いい歳して、まだオマンコしてるんだね」と意地悪に畳みかけて来ました。  
イケナイ！あの時の目だ、オナニー狂いになっていた目に戻ってる。  
母親の性行為をみてしまった反動で、元に戻ってしまった。私は、息子が再び悪魔に取りつかれてしまい、地獄のような日々に戻ってしまうのではないかという恐怖に怯えました。  
何とかしなければならぬ。何とかしなければ。頭の中を高速に回転させ、打



開策を考える私。その時、とっさに出てきた言葉が、  
したかったらセックスくらい、させてあげるわよ！  
息子から私に悪魔が鞍替えした瞬間でした。私は、荒々しく衣服を脱ぎ捨てると全裸で息子に跨ってしまったのです。  
そして、手コキでビンビンに勃起していたチンポをためらいもなく、自身のマンコへと導き挿入しました。我が子とセックスをしてしまう母親。  
自分の産んだ分身のチンポと繋がってしまった母親。  
いえ、もうそこに母親は居ません。悪魔に取りつかれたニンフォマニアが大好きなセックスをしているだけなのです。  
ふふ、どう？オマンコだよ、オマンコ。オマンコしてるよ。  
ふふふ、したかったんでしょ？これがしたかったんだよね。  
セックスやりたい、セックスやりたい、お母さんと繋がりたい、繋がってチンポを出し入れしたいって、いつも言ってたもんね。  
どう？気持ちいい？マンコの中、ヌルヌルして凄く気持ちいいでしょ？  
気持ちいいよね、堪えないよね～。  
女のマンコに入ったの、初めてなんでしょ？セックスしたの初めてなんだよね。  
知識だけ豊富で、何万回もＡＶ見てオナニーしてた癖に、女のマンコにハメた事が無かったんでしょ？  
生身の女が怖くて、風俗にも行けなかったんだよね。  
可愛そうな童貞チンポ。ほら、ほら、遠慮しないで腰を動かしな。下からお母さんのオマンコ目掛けて、突き上げるのよ。  
あーいい、あー気持ちいい、あー堪えない、あー効くう～、あーマンコ気持ちいい、気持ちいい気持ちいい気持ちいい気持ちいい～、あーいい、チンポでマンコ突かれて気持ちいいわ～。あー凄い凄い、突いて突いて、もっと突いて。  
あーパコパコ、パコパコ、下からもっとパコって、もっとマンコをチンポでパコって頂戴。あー気持ちいい～っ。  
ふふ、ふふふふ、いいでしょ？いいね、これいいね。セックスだよ、これがセックス。セックスがこれだよ。  
ほら、繋がってるとこ良く見てご覧。ほら、繋がってるとこをよく見るの。  
貴方のチンポ、ズッポリ、マンコに飲み込まれてるよ。  
オマンコにチンポがズッポリはまってる。凄いねえ、お母さんもマン汁を漏らしちゃって、ダラダラ垂れてる。あーほら、出し入れする度にマン汁が飛び散ってるよ。激しいねえ、激しいピストンだね。  
あー気持ちいい、オマンコ気持ちいい、オマンコ突かれるの大好き。あー好き好き、あーこれ好き。あーお母さん、これ好きだよ。ふふ、ふふふ、ホントはね、お母さん、凄くセックスが好きな女なの。貴方の歳の頃にはバンバン、オマンコ

してた。ホントなんだから。オナニーなんかする暇ないくらい、セックスをやりまくりだったのよ。ヤリマン？そうヤリマンだったの。

暇さえあれば男のチンポをしゃぶって、オマンコにチンポはめてた。ふふふ。ヤリマンの子なのよ。そうそう、性欲が強いのは遺伝なの。

ほら、目の前でおっぱいが揺れてるでしょ？おっぱいも触ってもいいのよ。おっぱい揉んで。もっと！驚掴みにしておっぱいを揉みまくって。おっぱいも好きなの？ふふ、それなら、おっぱいを顔に押し付けちゃうんだから、ふふふ。

さあ、体位変えるわよ。今度は後ろからやってみなさい。バックでオマンコすんのよ。犬みたいな恰好で交尾セックスするの。ほら、お母さんに後ろからしがみついて合体してみな。あーそこ違う、もっと下、そう、そこそこ、そこに亀頭をグーってチンポを差し込むの。あーそうそう、そこそこ、そこそこ、そう、グーって差し込んで。あー刺して刺して、チンポ刺して。あーいい、あー入った入った。チンポが後ろから入ってきたよ。

ほら、ポーっとしてないで腰振るの。ほらほら、前後に腰振ってみな。

あーいい、あーいいわ、あーそうだよ、気持ちいいでしょ？この体位も動き易くて気持ちいいでしょ？立ったまま、セックスしてる気分はどう？

バックスタイルは好きかしら。好きなんでしょ？立ってやる、マンコ突きが大好きみたいね、ふふ、マンコを突くのは誰もが大好き。

ほら、ほら、もっともっと、もっと腰振れ。もっと腰振れ、振れ振れ、これで女をイカせてご覧。

あーいいよ、もっと気持ち良くなれて、あーお母さんも気持ちいいよ、あーこれ楽しい。あーこれ堪らない。これ、堪らなく気持ちいい。あーセックス楽しい。

あーもっと激しく、もっと激しく動いて、お母さんをもっと気持ち良くして！

あー気持ちいい、あーマンコマンコマンコ、マンコ気持ちいい、マンコ気持ちいい～。

うん、どうした？動きが鈍くなったよ。何なの？気持ち良すぎて、立ってられない？チンポが痺れてる？足までその痺れが来てるの？

ダメ、ダメ、もっと頑張れ、頑張れ頑張れ！そうそう、まだ出したらダメよ。

もっと楽しまなきゃ。セックス、セックス、ほらほら、セックスよ、セックス、これがしたかったんでは。ふふふ、ふふふ、はははははは。

## のめり込む二人

あーいい～、あーそれいい、あーその動きいいよ、そうよ、動いて、もっと動いて、あー気持ちいい気持ちいい、あーチンポいいわ、あーそれいいわ、あー気持ちいい、あー堪んない、堪んない、あーチンポチンポチンポ、あーズボズボされてる、ズボズボ、ズボズボ、あー堪んないわ～。あーもうダメ、ダメダメ！お母さんイッちゃう！イッちゃう！あーイクイクイク、あーイクイクイクイク、

あーオマンコ、オマンコ、オマンコ、イクイクイクイク、イクっ！イクっ！

イクイクイクイク、オマンコが、イク〜っ！

ふふ、果てた。果てちゃったわ、お母さん。チンポでオマンコ、果てちゃった。

あーやっぱりいいわね〜。うん、セックスは最高だわ。

お母さん、イサオとセックスするのが大好きになっちゃった。貴方とセックスしてる時が一番幸せよ。ほら見て！右足の太ももがピクンピクンしてるでしょ？痙攣してるの。オマンコが気持ち良過ぎて痙攣してるのよ。

ふふ、お母さん、激イキしちゃった。汗も凄〜い、ふふふ。

夫を送り出した朝のリビング。あれ以来、息子とセックスをするのが当たり前になってしまいました。

誰に気兼ねする事なく大声で淫らな言葉を発しながら、オマンコとチンポで繋がり合うのが私たちの日課となったのです。

午後にはバイトがありますから、午前中が私たちのセックスタイム。

一線を超えて、チンポを受け入れてしまっちは、もう手コキやフェラだけで射精に導くのは難しく、息子はマンコの穴でしか満足出来なくなっています。

もちろん、私も固くて元気の良い、息子のチンポの魅力にメロメロです。

そう、母子で肉欲の魔力に負けてしまったのです。

息子は、私とのセックスが楽しいのか、バイト以外に外出せず、常に私と交わりたがります。

家事の最中も後ろから抱き付き、無理やり私を押さえつけると強引にチンポをマンコへ差し込んで来るのです。そして、ひとしきりピストンを続けると、離れていき、また暫くすると、襲い掛かってチンポを入れて来ます。

まるで動物のマーキングのような行為です。このクイックオマンコが気に入ったのか、家の中では裸でエプロン姿というのが、私の普段の恰好になっています。

息子？息子ですか？ふふ、もちろん全裸です。

ウン、ウン、ゆっくり、あーゆっくりよ。あー気持ちいい、あっ気持ちいい。

ウン、ウン、そう、ゆっくり動いて、ゆっくりだったら大丈夫だから。

うん、上手よ。上手だわ、随分上手になったわ。本当に上手になったわね。お母さんも、お尻の穴が好きになっちゃった。お尻の穴がね、痛くなくなったの。

最初は無理かなって思ったけど、やってみると、意外に入っちゃうものよね。

ええ、今ではね、オマンコと交互にやってもいいかなって思う位、気持ちいいわよ。イサオはどう？貴方は気持ちいいの？オマンコは勿論だけど、この場所が好き？ああ、ここでするのが好きなのね。

今、私達はダイニングテーブルの下で、アナルセックスをしています。普段食事をしている食卓の下に潜り込んで、肛門性交をしているのです。

普通のセックスだけでも不道德なのに、ケツ穴にチンポを突っ込んで交わるという変態行為。レトロなポルノ映画のワンシーンに影響されたのですが、二人とも、この場所が大好きになりました。

隠れてハメるという行為がこんなにも興奮するのかと驚いています。アナルにチンポを差し込まれていますから、そんなに普段オマンコにしている様な、激しいピストンは出来ません。でも、テーブルの下という窮屈な空間が、いっそうの背徳感を掻き立てるのです。

あーいいよ、肛門気持ちいい、あーお母さんの肛門、チンポを喜んでるよ。

肛門セックス、肛門セックス、あーお尻って、こんなに気持ちいいものなのね。痛いだけって思ってたけど、うん、痛気持ちいい、この、ちょっと痛いような感じが溜らないのよ。

それとね。ふふ、判る？気づいてる？お母さん、チンポを肛門に感じながら、自分の指でクリトリスを擦ってるのよ。そう、擦ってるの。クリを擦ってるのよ。うん、凄く気持ちいい。

あーダブルでズンズンくる。ウーン、ウーン、あーもう痺れるみたいで堪えないわ、お母さん。

ねえ、このままお汁出しちゃってもいいわよ。イキたくなってるんでしょ？射精したくなったら、いつでも発射していいからね。ドクドク流し込んで頂戴。えっ？出すのはマンコ穴がいいの？やっぱり、射精はマンコなのね。うん、いいわよ、イサオの好きな所で出させてあげる。貴方の好きな穴に出していいわ。ちょっと待って、体位変えるね。さあお母さんの上に乗って。

そうよ、正常位でハメて頂戴。よいしょっと、ふふ、いいわよ。ほら、両足を抱えたら、オマンコの穴に入れ易いでしょ？そのまま、刺して。オマンコにチンポ刺して。

あー入った、ふふ、マンコの中にはスルって入るわね。うん、さっきクリを擦ったでしょ？だから、マン汁が出てたみたい。

ほら、グチュグチュ、凄い音がしてる。ふふ、いいわよ、今度は早く動かしても。えっ？お母さんの足が纏わりついて動きにくいつて？ふふ、ごめ〜ん。

お母さんね、正常位で繋がる時は、足を巻き付けるのが好きなのよ。これって知ってる？だいしゅきホールドって言っただって。

これすると、離れられないから中出しするしか無いのよね。膣外射精防止のホールドって訳。ふふふ、貴方も、女とセックスする時、これをされたら気をつけてね。無理やり妊娠して、脅される事もあるからね。

えっ？俺はお母さんとかオマンコしないって？

もう、嬉しい事言わないで。ふふふ。アッアッ、あーいい、あーいいわ、早くなってきた、あーピストンが早くなってきた。

あーいいわいいわ、これいいわ。出すのね、出したくなったのね。お母さんのオマンコの中に、汁を出しちゃうのね。いいわよ、いっぱい出して。あーイッて、イッて。たっぷり出して。マンコ穴の中がタップタプになるまで出して頂戴。あー出てる、出てる、マンコの中に精子出されてる。判るわ、判るわよ。いいのよ、もっと出しちゃいなさい。気持ちいいんでしょ？射精が気持ちいいんでしょ？ほらほら、いっぱい頂戴。お母さんにいっぱい精子頂戴。ふふ、ふふふふ、うふふふふ。

### 墜ちた母子

準備出来た？何で服を着てるのって？あーもう、言ったじゃない。  
今日はバイトがお休みだから、外出するって。そうだったでしょ？  
家の中じゃマンネリだから、外でやろうっていったのは貴方じゃないの。  
ふふ、見て？ガーターストッキングにノーパン。マンコが丸見えでしょ？  
これだったら、パンティをいちいち脱がなくても、どこでもスカートを捲ってオマンコが出来るわよ。あら、急に支度が早くなっちゃった、ふふふ。  
ほらほら、出かけるわよ。車は貴方が運転してね。  
ふふ、久しぶりよね。二人っきりでお出かけなんて。どこか行きたい所、ある？  
思い切って、ラブホテルに行っちゃおうか？えっ？もっとスリルのある所がいって、どこよ？えっ、この中って？何？車の中？カーセックスするの？  
ふふ、車の中でしたいなんて、好きよね。車の中でハメたいの？  
いいわよ。あつ、それだったら運転中におしゃぶりしてあげようか？チンポ、舐めてあげるよ。運転中にフェラチオしてあげる。  
お母さん、チンポが舐めたくなくて来ちゃった。  
あーチンポが舐めたい、チンポ舐めたい。  
うん、勿論ハメなくなったら、お母さんの中に入れてあげるから。ふふ。  
ほら、この先にショッピングセンターがあるじゃない？あそこの駐車場に止めてセックスしようよ。着くまでは、お母さんのお口で楽しませてあげる。  
その代わり、安全運転をお願いよ。  
ふふ、なーに、ビンビンになってるじゃないの。気持ちいい？チンポ、感じるの？やっぱり場所が変わると反応も違うわね。うん、舐めやすいわよ。シフトレバーが無いから、とっても舐めやすい。ふふふ。お父さんにしたことあるかって？バカ、するわけじゃない。むか〜し、昔の事よ。まだ女子大生の頃にね。そうよ、その頃は、お金が無くてラブホとか、しょっちゅう行けなかったのよ。だから、セックスするっていったら、車の中が多かったの。それに小さな車だったから、窮屈でね。ふふふ、思い出しちゃった。いくら気持ちいいからって、出したらダメだからね。あとでハメるんだから。あーでも美味しい、

チンポ美味しいわ。あーチンポチンポ、あーチンポチンポチンポ、チンポ美味しい、チンポ美味しい。あーイサオったら、我慢汁出てるでしょ？あー出して、我慢汁が出てるわ。ふふ、判るわよ、味がするもの。危ないわね、ふふ、それじゃ、金玉舐めちゃおうかな？金玉好きだもんね、金玉を舐められるのが大好き。ふふ、ちょっとクールダウンしてもらわないと。ウグッ、うん？

どうしたの？えっ？もう着いちゃった？もう着いちゃったの？

あーん、もう少しオシャブリしたかったのに、ふふふ。どこに停めるの？

立体の最上階？あー、あそこならガラガラだもんね。

ふふ、後部座席に移動したものの、何か興奮するわね。

ねえ、外をよく確認して。誰も居ない？警備員とか気を付けてよ。大丈夫？

それじゃ、始めようか。あっ、その前にお母さんのオマンコも舐めてくれない？たまにはクンニしてよ。いつもお母さんに舐めさせる癖に、お母さんのオマンコ、ちっとも可愛がってくれないでしょ？

オナニーする時は、お母さんのオマンコの匂いが付いた下着を使ってるじゃないの。お母さんのオマンコの匂い、好きでしょ？嗅がせてあげる。ほら、スカート捲ったわよ。ほら、パンティ履いてなかったから、お汁でスカートがシミにならないか心配だったわ。ふふ、フェラチオして興奮しちゃったから、ちょっと濡れてるかも。もし漏れてたら、それも舐め取ってね。あーいい、あー気持いい、ふふ、オマンコを舐める、ピチャピチャって音がイヤらしいわ。

あーそうそう、そこのヒダの所も丁寧に舐めてね。あーでも、やっぱりクリがいい、クリに刺激が欲しいの。ねえ、舌でチュウチュウしてくれない？あーそう、口に含んで吸って欲しいの。あーいい、あーいいよ、それいいよ。あーいい、あー気持いい。あーもうダメ、ハメてハメて！

合体したい、繋がりたい。ねえねえ、もうクンニはいいわ、チンポチンポ、チンポをハメて。頂戴、頂戴、チンポ頂戴！

あっ、のし掛かっちゃダメよ。正常位はダメ。

ううん、服がシワになるからじゃないの。

カーセックスは座位よ、座位！座ったまま抱き合った形で繋がるの。

座った状態で、お母さんが跨るのね。そう、そう、こうするとね、

セックスしながら、それぞれが反対方向の様子を見ることが出来るでしょ？

カーセックスを覗かれるのなんて御免だわ。だから、こうして外の様子を見ながら座位でハメるのよ。ふふ、良く知ってるでしょ。

さあ、お母さんが動いて気持良くしてあげるから、貴方は、ちゃんと反対側を見ててよね。ふふ、この窮屈な感じがいいんじゃないの。チンポもしっかり芯が入って固くなってるわよ。この突き刺さってる感じが堪らないのよね。ふふ、騎乗位よりも角度的に、もっと奥まで入ってる感じがするの。

うん、子宮まで届いてる感じがする。この体位、何気に好きなのよね。ふふ。  
あー気持ちいい、うん、凄く気持ちいいわ、お母さんすごく気持ちいいの。  
ええ、いいわよ、そのまま出して。発射して。お母さんの、お母さんのオマンコに中出ししてね。あーイクイク、イクイクイク、オマンコオマンコ、オマンコ、イクイク、イクイクイクイク、あーオマンコがいくいく、いくよ～、イクイク、イクーっ！  
カーセックスでの一発では物足りない私達は、その後、ショッピングセンターのトイレでもハメあって二発目を楽しんだ後、ホテルへも行きました。  
なんてセックスが大好きな親子なのかしら、ふふふ。  
しかし、こうして、毎日欠かさずゴムなしセックスを続けていた報いが訪れる時が来たのです。  
関係をもった、ちょうど一年後、私は医師に妊娠している事を告げられました。もちろん、息子の子種に間違いありません。夫ともセックスはしていましたが、いつも膣外射精をさせていていましたから、万に一つも、その可能性はありません。間違いなく、息子の子供を身籠ってしまったのです。  
何という罪作りな母親でしょう。息子が己の手で快楽に耽る事を否定したセックス三昧の日々。その結果がこれです。  
私は自殺も考えるほど悩み抜いた末、息子に打ち明けました。  
そして、息子とある結論を出したのです

### エピローグ

あーイクイク、オマンコ、イクイクイク～、貴方、貴方、いいわ、いいわ、貴方のチンポ最高、貴方のチンポ、最高よ。あーイクイクイク、あーいいの、凄くいいのよ、オマンコが、オマンコが凄く気持ちいい。あーもう私イキそうだわ。オマンコがイキそうなの。ねえ、貴方、一緒に来て、来て来て、一緒にイキましょうよ！  
貴方～、いいの、いいのよ、中に出して！オマンコの中に出して欲しいの。本当にいいのよ、いつも外に出すのも悲しいでしょ？  
中で精子を出して頂戴。私、感じるの、中に出されると凄く興奮するのよ。だから中出しして、そうよ、中に出して。  
今日からいつでも中出しOKよ。だって夫婦じゃないの。  
私、セックスが大好きだから、毎日したい。私ね、今まで隠してたけど、毎日中出しセックスがしたかったの。精液をオマンコに欲しかったのよ。  
出していいからね、中で射精させてあげる。私のオマンコの中で果てちゃいなさい。いいでしょ？  
大丈夫よ、赤ちゃんなんて、そうそう出来る訳ないわよ。出来ちゃったら、出



来ちゃった時、遠慮しないで射精して頂戴。

欲しい、精子をオマンコに欲しいわ。貴方の精子をオマンコで感じたいの。

あー頂戴頂戴。ふふ、ふふふ、足でしっかり挟んでるから、チンポを抜く事が出来ないでしょ。もうマンコの中しか、発射する場所は無いわよ、ふふふ。

さあ、出して出して、貴方の精液をオマンコにたっぷり出して。

出して出して、オマンコオマンコ、あー中出し、中出し、オマンコ中出し、チンポから、チンポから、たっぷり精子、ぶちまけて～！